

守る 多様な健全な森林づくり

環境林



紀の国森づくり大使
キノビー

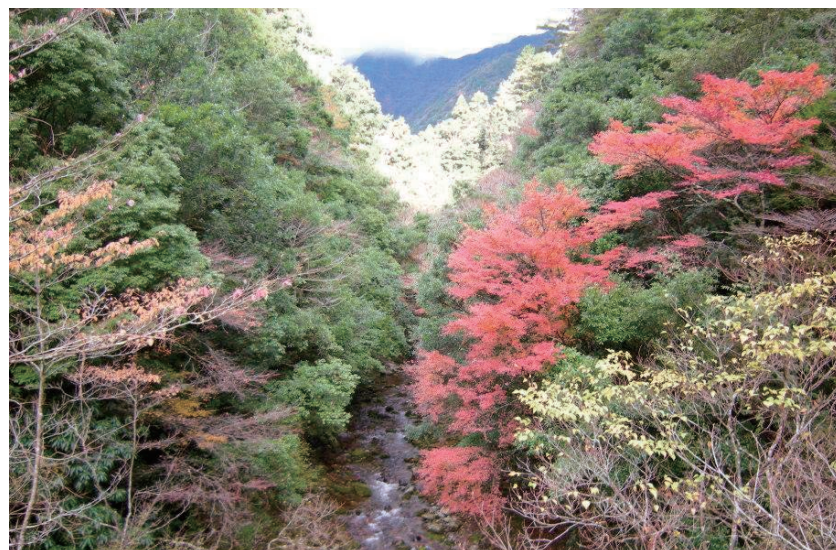
森林には、土を根で支え、地中に貯えた水をゆつくりと流すことで、土砂崩れや洪水・渇水を防止したり、二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に貢献するなど、公益・多面的な機能があります。

県は、県独自の「紀の国森づくり税」や国からの「森林環境譲与税」を活用しながら、そのような森林を守り、育てる取組を進めています。

●貴重な森林を 公有林化

江戸時代に紀州藩では「留山」という制度を定め、森林資源の保護や土砂災害の防止が必要な場所での樹木の伐採などを禁じていました。

県では、先人の知恵にならない、県民の皆さんの安心・安全な生活や自然環境を守るため、景観を維持するうえで重要であったり、貴重な自然生態系を支える森林を「新紀州御留林」として公有林化し、後世に継承すべき県民共有の財産として、永続的に保護していきます。

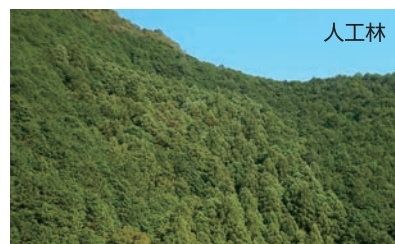


新紀州御留林(大塔山)

●生育の悪い人工林の広葉樹林化

かつては、戦後復興期の木材需要の高騰を受け、地形や土壌などで生育に適さない場所にもスギなどが植林されました。

県では、そのような生育の悪い人工林を広葉樹林に変え、高い公益・多面的機能をもつ健全な森林を育てています。



●「企業の森」の推進

企業や団体の社会・環境貢献や地域交流活動として、森林環境保全に取り組んでもらう「企業の森」を推進しています。全国に先駆けて平成14年から開始し、これまでに87の企業・団体に参画いただき、100カ所約299haの整備が行われていきます。



林業移住者 中畑洋平さん



田舎での子育てや地域と関わる仕事に興味があり、妻の実家がある和歌山に林業移住しました。

私が卒業した農林大学校林業研修部では、林業に関わる資格の大半を取得でき、複数事業所での就業体験も実施されるなど、キャリアアップや就職先の選択に役立ちます。移住者の私には、地域の情報を収集することができ、卒業後も関係が続く仲間を作れたことも有り難かったです。

現在は、就業体験先の一つで早朝から林業に従事し、午後には自由時間と、有意義な生活を送っています。

●人材の育成

県農林大学校林業研修部では、最新の林業機器を導入するなど、最先端の林業を学べる環境を整備しており、現場で活躍できる人材を育成しています。



屋内での傾斜伐倒練習

●林業経営コースの特色

- 徹底した個別指導と、チェーンソーや重機などの練習時間も充実
- 林業に必要な15の資格などを取得
- 林業経営に必要な知識の習得
- 給付金が受けられます(一定要件あり)

【選考試験(前期)】

日時:7月2日(土)10:00~

場所:県農林大学校林業研修部(上富田町)

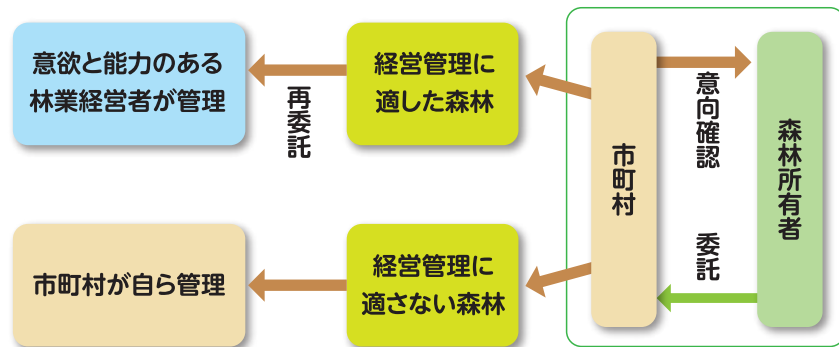
願書受付:6月7日(火)~21日(火)(17:00必着)

問:県農林大学校林業研修部 ☎0739-47-4141

●森林経営管理制度

平成31年4月の森林経営管理法の施行により、森林所有者の適正な森林経営・管理責務が明示されました。これにより、市町村が管理をサポートできるよう、森林所有者に管理意向確認を行っています。

管理にお困りの方は、市町村林業担当課にご相談ください。



育てる 担い手の確保と育成

林業を活性化し、森林を守り育てるためには、担い手の確保と育成が重要です。県では、関係機関と連携し、林業の魅力発信や求人情報の提供、研修などを通じて、新たな担い手として、移住者の受入や林業従事者の確保につなげていきます。

また、県農林大学校林業研修部では、実践的な技術と知識を有し、将来の林業経営を担う人材も育成しています。

●新規就業者の確保 わかやま林業移住



わかやま林業体感セミナー

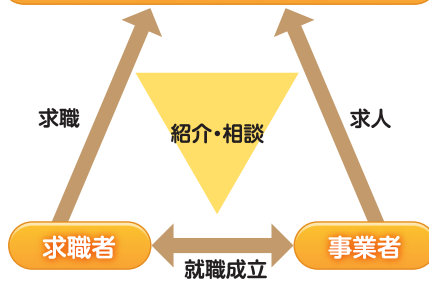


林業就業相談会

わかやま林業労働力 確保支援センター

担い手を求める林業事業者と就業希望者とのマッチングを効果的に進めるため、無料職業紹介や相談、情報提供を行っています。

わかやま林業労働力確保支援センター



WEBサイト わかやま森の職業紹介ナビ
☎0739-83-2022 FAX0739-83-2565

